【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2005-251037(P2005-251037A)
【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2005-036
【出願番号】特願2004-63169(P2004-63169)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ　17/00　　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　25/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ　17/00　　Ｄ
Ｇ０８Ｂ　25/00　　５１０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月16日(2007.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の火災感知器が接続された感知器回線と、該感知器回線の複数が接続された火災受信機とを備え、前記火災感知器からの火災信号を前記火災受信機が受信する火災報知設備において、
前記火災受信機は、試験スイッチと、該試験スイッチの操作に基づき試験モードに設定される制御手段と、感知器回線毎に接続された火災感知器の接続個数を記憶する接続個数記憶部と、前記試験モードの設定状態で、感知器回線毎に火災信号を送出した火災感知器の発報個数を記憶する発報個数記憶部と、を備えたことを特徴とする火災報知設備。
【請求項２】
制御手段は、試験モードの設定状態で、感知器回線毎に、接続個数記憶部に記憶された火災感知器の接続個数と発報個数記憶部に記憶された火災感知器の発報個数を比較して一致した場合に、該一致した感知器回線に対応した地区ベルに所定の鳴動をさせることを特徴とする請求項１記載の火災報知設備。
【請求項３】
制御手段は、試験モードの設定状態で、全ての感知器回線について、接続個数記憶部に記憶された火災感知器の接続個数と発報個数記憶部に記憶された火災感知器の発報個数を比較して一致した場合に、所定の地区ベルに前記所定の鳴動とは異なる鳴動をさせることを特徴とする請求項２記載の火災報知設備。
【請求項４】
火災受信機は、発報試験結果として、接続個数記憶部及び発報個数記憶部の記憶内容に基づき、感知器回線単位で発報試験漏れの火災感知器があるか否かを表示する表示部を備えたことを特徴とする請求項１記載の火災報知設備。
【請求項５】
表示部は、感知器回線毎に対応して設けられた地区表示灯であることを特徴とする請求項４記載の火災報知設備。
【請求項６】
制御手段は、発報試験結果として、感知器回線毎に、接続個数記憶部に記憶された火災感

知器の接続個数と発報個数記憶部に記憶された火災感知器の発報個数を比較して一致した場合と一致していない場合とで、該感知器回線に対応した地区表示灯の表示状態を異ならせることを特徴とする請求項５記載の火災報知設備。
【請求項７】
制御手段は、発報試験結果として、感知器回線の回線番号順に、対応する前記地区表示灯を、接続個数記憶部に記憶された火災感知器の接続個数分だけ点滅させるとともに、発報個数記憶部に記憶された火災感知器の発報個数分だけ点滅させることを特徴とする請求項５記載の火災報知設備。
【請求項８】
火災受信機は、試験結果保存スイッチと、試験結果記憶部と、を備え、
制御手段は、前記試験結果保存スイッチの操作に基づき、各感知器回線の回線番号に対応させて、接続個数記憶部に記憶された火災感知器の接続個数と発報個数記憶部に記憶された火災感知器の発報個数とを、前記試験結果記憶部に記憶させることを特徴とする請求項１記載の火災報知設備。
【請求項９】
前記火災受信機は、前記試験スイッチの操作に基づき試験モード開始信号を前記火災感知器に送出する手段と、を備え、
　前記火災感知器は、前記試験モード開始信号を受信すると被試験モードに設定されて、表示灯を所定の点灯状態に制御し、また、前記被試験モードの設定状態で火災を検知すると、前記表示灯を前記所定の点灯状態とは異なる表示状態に制御する制御手段を備えたことを特徴とする請求項１～８記載の火災報知設備。
【請求項１０】
制御手段は、通常監視モードの設定状態では、前記表示灯を火災確認灯として機能させることを特徴とする請求項９記載の火災報知設備。
【請求項１１】
火災受信機からの感知器回線に複数の火災感知器が接続され、前記火災受信機がポーリングによる信号伝送を行い、前記火災感知器からの火災信号を受信する火災報知設備において、
　前記火災受信機は、通常監視モードまたは試験モードを設定する試験スイッチと、
　該試験スイッチの操作に基づく前記通常監視モードまたは試験モードの設定状態を記憶するモード記憶手段と、
　前記試験モードの設定状態のときに、火災信号を送出した火災感知器のアドレスを記憶する発報アドレス記憶手段と、
　前記モード記憶手段及び発報アドレス記憶手段の記憶内容に基づき、各火災感知器に対して、それぞれ所定の発光制御命令を送出する手段と、を備え、
　前記火災感知器は、前記所定の発光制御命令に基づき、表示灯の表示状態を制御する制御手段を備えたことを特徴とする火災報知設備。